

社会政策学会誌執筆要領

1 原稿の形式

原稿は原則として Microsoft Word 形式で作成し、ページ設定は A4 サイズ縦、横書き、1 頁あたり全角 40 字×40 行とする。原稿の分量は、原則として以下のとおりとする（ただし、空白行は含まない）。

(1) 投稿原稿の研究論文

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×400 行】以上【40 字×500 行】以内とする。

(2) 投稿原稿の研究ノート

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×200 行】以上【40 字×300 行】以内とする。

(3) 研究動向紹介、政策動向紹介、史資料解題、学会情報（依頼原稿を除く）

図表、注、引用文献等を含み、【40 字×200 行】以上【40 字×300 行】以内とする。

(4) 依頼原稿及び小特集原稿

書評は【40 字×125 行】を上限とし、それ以外は上記を目安に、編集委員会からの依頼条件による。

2 図表の字数換算

原稿字数を計算する際、図表は便宜上、以下の 3 段階で換算する。

①A4 版で 1 頁相当の場合は 40 行

②1/2 頁相当の場合は 20 行

③1/4 頁相当の場合は 10 行

必ず提出前に A4 版で図表をプリントアウトし、読みやすい大きさであるか、執筆者本人が確認する。

3 研究倫理手続き

原稿に利用したデータや事例等については、プライバシーの侵害がなされないよう、細心の注意を払う。また、研究倫理に照らし必要な手続きを行い、研究倫理手続きを経ていることを、本文または注に明記する。

4 提出原稿

投稿に際しては、別に定める「社会政策学会誌編集規程 投稿細則」6 で定められた手続きに則って必要なデータを提出する。

5 原稿の書式

(1) 注・参考文献等もすべて本文と同じ文字サイズ、同じ字詰めで印字する。なお、英数字

は原則として半角とする。

- (2) 原稿は、執筆者名は記さず、「本文、注、参考文献」の順に記載する。図表は本文等とは別に添付し、挿入箇所を原稿の右の余白部分に指示する。図表番号は[図 1]、[図 2]、[表 1]、[表 2]のように示し、通し番号とする。出典は必ず明記する。必要に応じて原著者または著作権所有者から使用許可を得る。
- (3) 注は本文中の当該箇所、上付き文字で、^{1・2・…}とナンバーをふる。注は、すべてまとめて本文の末尾に 1 行あけて記載する。
- (4) 各頁の下中央部に、頁番号を印字する。
- (5) 句読点は「、」「。」とする。
- (6) 「常用漢字を用いた新かなづかい」による執筆を原則とする。
- (7) 論文の構成
 - ①節 1・2・3… (数字の前後に「第」「節」は付さない)
 - ②小見出し (1)・(2)・(3)…
 - ③以下は (a)・(b)・(c)…
 - ④本文中の箇条書きなどは ①・②・③…を用いる。
 - ⑤見出し中の副題はコロン [:] でつなげる。
- (8) 年号は西暦表記を基本とする。和暦を併記する場合は、1987 (昭和 62) 年とする。ただし、必要に応じて「昭和 50 年代」などの和暦表記を用いてもよい。
- (9) 数の量などを表す数字の表記は、単位語(兆、億、万)を付ける。カンマは入れない。
例：12 億 8600 万人， 15 兆 300 億円
- (10) 幅のある数字を記す場合は、上位のケタの数を省略しない(ただし、年代はこの限りではない)。
例：130～150 万(130～50 万とはしない)、1970～80 年。

6 参考文献リスト

(1) 文献の表記方法

(a) 雑誌論文の場合

著者名、西暦発行年、「論文表題および副題」『掲載雑誌名』巻(号)、頁-頁。

[英語の場合：著者名、西暦発行年，“論文表題および副題，” 掲載雑誌名 (アンダーライン)，巻(号)，頁-頁.]

(b) 著書の場合

①単著・共著の場合

著者名、西暦発行年、『書名』出版社または発行所名。

[英語の場合：著者名、西暦発行年，書名 (アンダーライン)，出版社または発行所名.]

②翻訳書の場合

原著の著者名、原著の西暦発行年，書名 (アンダーライン)，出版社または発行所名。(訳

者名、翻訳書の西暦発行年『翻訳書の書名』出版社または発行所名。)

③編書に収録された論文の場合

著者名、西暦発行年、「論文表題および副題」編者名編『書名』出版社または発行所名、頁-頁。

[英語の場合：著者名、西暦発行年，“論文表題および副題，” in 編者名(ed.)，書名 (アンダーライン)，出版社または発行所名，頁-頁.]

(c) 編書の場合

編者名編、西暦発行年、『書名』出版社または発行所名、頁-頁。

[英語の場合：編者名(ed.)，西暦発行年，書名 (アンダーライン)，出版社または発行所名，頁-頁.]

(d) ウェブサイトからの引用の場合

著者名、公表年または最新の更新年、当該情報のタイトル、URL、引用のためのアクセス年月日。

(2) その他

(a) 日本語・外国語の文献を分けずに、筆頭著者名 [姓] のアルファベット順に記載する。著者が複数の場合、日本語では中点 (・)、英語ではカンマ (,) でつなぎ、全員を記す。ただし、英語で、著者が2名から4名までの場合、最後の著者とその前の著者の間は、カンマでなく and でつなぐ。著者が5名以上の場合、5人目以降の著者名は省略し、ほか (日本語) あるいは et al. (英語) と記す。

(b) 英語文献の場合、著者名はファミリーネームを先にし、カンマでファーストネーム等をつける。ただし、2人目以降の著者名はファーストネームを先にし、ファミリーネームを後に記す。表記は原則として原書大扉の表記に従う。(ファーストネームおよびミドルネームはイニシャル表記の場合もある)。

(c) 英語文献の表題、雑誌名、書名、出版社名等は、文頭を大文字とし、それ以外では冠詞、前置詞、接続詞を除くすべての単語の1文字目を大文字とする。

(d) 同年に発行された同一著者の文献が複数ある場合には、発行年の後にアルファベットを付して区別する。

(e) 大学紀要や研究機関紀要は誌名の後に刊行機関名を丸括弧で括って記す。

(f) 巻号の表記は「第12巻第1号」であっても12(1)と表記する。

(g) 英語の場合、名詞等の単語の始まりの1文字を除いては小文字で表記する。

(h) シリーズ名等は、書名のあとに丸カッコ内に記す (『書名 (シリーズ名)』)。

(i) 日本語・英語以外の言語の場合、著者の責任で適切な表記を行う。

7 引用方法・参照方法

(1) 本文や注において、参考文献リストに挙げた文献の記述を引用または参照する場合は、以下のいずれの方法で明記する。なお、(a)の方法を原則とする。

(a) 引用部分等の文末に、[]を用いて示す。[]内は、著者名（姓のみ、ただし同年発行・同姓の場合には姓名両方）、西暦発行年、頁-頁の順で示す。英語文献の場合は、[]内は、著者名、西暦発行年、頁-頁の順で示す。

例：…と指摘されている[佐藤、2023、10-11]。

(b) 引用部分等の前の本文で、著者名[]を用いて示す。[]内は、西暦発行年、頁-頁の順で示す。英語文献の場合は、[]内は、西暦発行年、頁-頁の順で示す。

例：佐藤 [2023、10-11] は、…と指摘している。

(2) その他

(a) 引用文献が複数ある場合には、セミコロン [;] で区切って併記する。

(b) 著者が複数の場合には、[筆頭著者名（姓のみ）ほか、西暦発行年、頁-頁]または[筆頭著者名 et al., 西暦発行年、頁-頁]とする。2名の場合、日本語は中点（・）、英語は and で記載してもよい。

(c) 翻訳書を引用・参照する場合は、[原著の著者名、原著の西暦発行年=翻訳書の西暦発行年、頁-頁]とする。原著を直接、引用・参照する場合は、英語文献の引用方法・参照方法と同じとする。

(d) 文献全体を参照する場合は、頁数の表記は省略することができる。

附 則

本要領は、2010年6月19日より施行する。

一部改正 2009年1月30日

一部改正 2010年6月19日

一部改正 2016年2月27日

一部改正 2017年3月20日

一部改正 2022年11月1日

一部改正 2025年5月17日

一部改正 2026年2月20日